

○平成24年度海外派遣研修

「McMaster大学におけるProblem Based Learningの現状及び臨床実習研修」

理学療法学科 助教 金井 欣秀

○期 間 平成 24年 11月 17日～ 11月 25日 (9日間)

○研修先 国名, 都市名, 研修機関名

Canada, Hamilton, McMaster大学

1. 研修の目的

現在, 世界中の多くの教育機関において, Problem Based Learning(問題基盤型学習;PBL)による教育形態が採用されている. 本学理学療法学科においてもPBLを本学科用にアレンジした形で部分的に採用している. これは本学開学時にCanada McMaster大学で行われていた方式を直接見学した上で採用した教育形態である. ここで, 開学より15年以上を経て, 本学科の教育を新たな視点で見直し, 比較するためにオリジナルであるMcMaster大学の形式を見学することを目的とした.

また, 医療従事者の養成課程において臨床実習での教育は学内教育と並び必須の課程である. しかし, 日本の理学療法士養成課程では臨床実習教育に対し, ある一定の指針は提示されているものの, その形態は養成課程ごとに異なり, また実習先である施設・機関によっても左右される. ここで日本の現状を踏まえつつ, 海外の臨床実習教育を見学して知見を広げることで, 今後の日本の理学療法士養成教育においてモデルとなる形態が存在するのかを確認することを目的とした.

2. 研修の概要

研修は大きくわけて2部により構成された. 1つ目はPBLの見学である. PBLは少人数の学生と1名のチューターから構成される1ユニットで授業が進められる. 疾患・疾病のある患者を対象に業務を行う理学療法士の養成課程におけるPBLでは1人の患者像が提示される. 患者の障害像を把握し, 治療を進めるためには疾患・障害そのものの理解や治療戦略のための評価が必要となる. よって, 学生は提示された患者の訴えより想定される疾患・障害・評価方法について予習を行い, 疾患・障害理解の土台となる身体構造に関しても予習を行うという入念な準備を行って授業に臨んだ.

PBLでは教員はあくまでチューターという名の進行役であり, 一方的な知識の伝授を行うわけではない. よって, 学生主体の活発な議論がなされる. Canadaの理学療法士養成課程はすでに大学院修士課程によって行われている. そのため, 学生は何らかの学士の学位を有し, 基礎的な学力と問題解決に必要な思考能力を備えている. 授業中に展開される議論は単なる私見に基づくのではなく, 十分な説得力を持つ意見とそれを裏打ちする先行研究に基づく. 約2年半の理学療法士養成課程の初期に根拠に基づく医療(EBM)による思考形態やEvidenceの利用方法を理解している. よって, 彼らのPBLは臨床における問題解決指向型のアプローチそのもので進む. ここにマニュアルに基づいたレディメイドではないCanadaでのオーダーメイド理学療法の展開を想像することができた.

次に臨床実習に関して報告する. 医療従事者にとって臨床実習における教育は学内教育と相互補完的なものであり, 必須の科目である. しかし, 理学療法養成課程ではその方法は厳密に決まっているわけではなく, 養成校あるいは実習先の施設・機関によって様々である. このような日本の現状を踏まえつつ, McMaster大学での実習に関して実習担当教員に聞き取りを行った. そもそも大学院での理学療法士養成課程は6つのユニットに分けられ, それぞれ3～5ヶ月で構成される. そのうち, 1つのユニットでは計2週間であるが, 残りの5つのユニットでは6週間ずつ実習を行う. 形態としては実習指導者にマンツーマンで従い, 各実習先で実習を行う. その中で興味深い内容としては地域の学校やYMCAでの実習を行うということであった. すなわち, そのような施設・機関にも理学療法士が配置されているのである. また, 実習先では指導に適さない指導者も存在するとのことで, その場合には実習を中止し, 学生を別の場所に振り替えるとのことであった. 日本でもよく聞かれることであるが, 新規の実習先として協力が得られにくいとの話も聞かれた. 臨床実習は学内教育とは異なり, あくまで先方に学生をゆだねるという形になり, 苦労している様子もうかがえた.

3. まとめ

PBLについては興味深いのが, 少人数クラスで学生を教育していくための人的・経済的資源確保は現状の茨城県立医療大では難しいと思われた. 実習に関しては日本と大きく異なることはない印象であるため, 新しいモデルは茨城県立医療大に適した形を自ら構築していく必要性が感じられた.